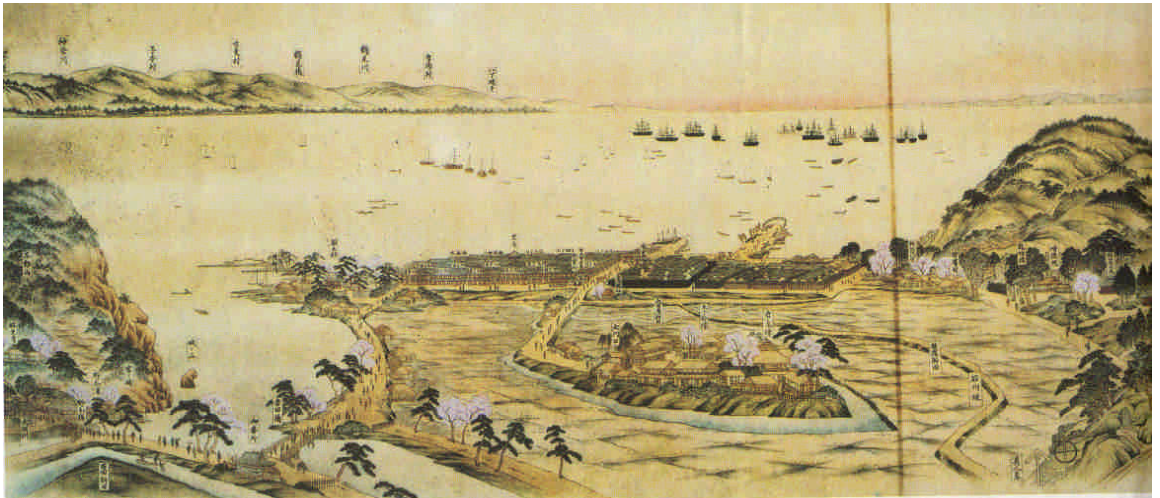


1. 開港直後の関内鳥瞰図

開港一年後の安政 7 (1860) 年に描かれた肉筆画、現在の関内駅付近を手前にして、堀川で囲まれたところが港崎町の遊廓 (現在の横浜スタジアム)。その先に二本の波止場、左の丘は野毛山、左下は大岡川と吉田新田、続いて吉田橋、その手前に番所がある。



2. 元治元 (1864) 年ベアトが撮影、野毛山から見た横浜全景

左の山裾は野毛町、中央奥が吉田橋と港崎町遊廓、右塩除堤と一ツ目沼その奥が山手。



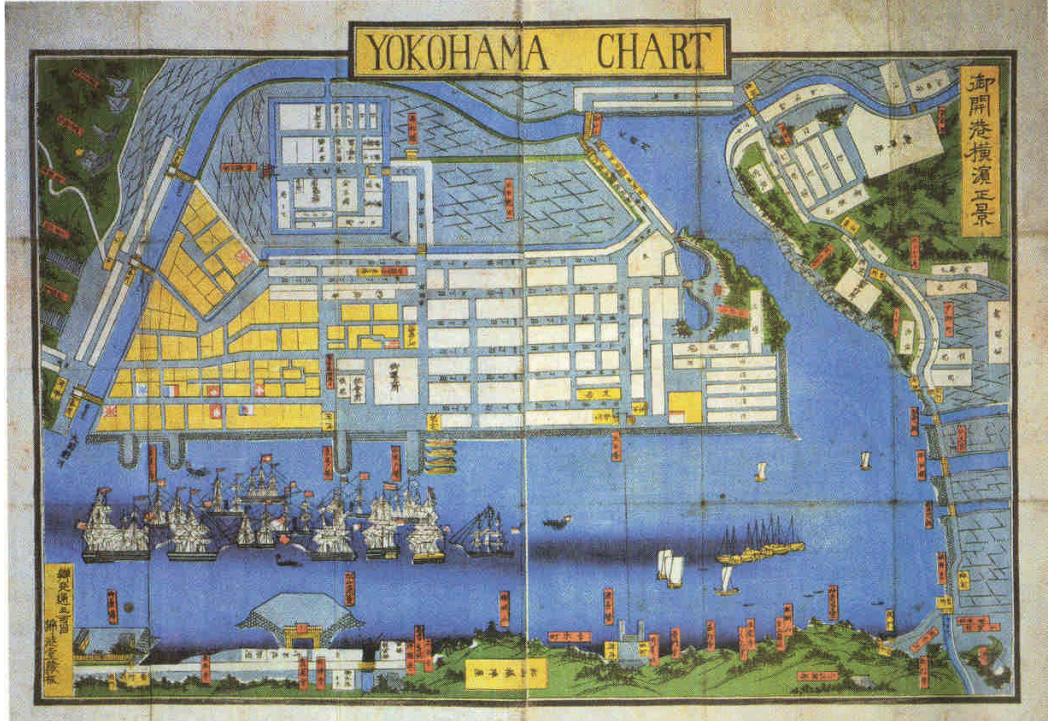
3. 昭和 20 (1945) 年大空襲後、野毛の成田山横浜別院のところから撮ったもの

真中の建物が野毛の横浜税務署、左手が桜木町、中央から右手のビルが伊勢佐々木町。





4. 元治元（1864）年頃出版された 御開港横浜正景（上記1の肉筆画参照方）  
 二本の波止場の先が港崎町遊廓、波止場より右手が日本人街、左手が外国人居留地。



5. 明治 13（1880）年作成 改正銅版横浜地図 — 神奈川県久良岐郡横浜町—  
 左上は慶応 2 年に出来た根岸競馬場の拡大図、16 年で大変貌した。現在の横浜駅は右下  
 右上が戸部村、その下の白い部分が現在の桜木町から MM21 にあたる。

